



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 Jストリーム

コード番号 4308 URL <http://www.stream.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 保住 博史

TEL 03-5765-7744

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,489	△1.6	28	—	42	—	12	—
23年3月期第2四半期	2,530	△6.4	△161	—	△142	—	△243	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 16百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △246百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	92.47	—
23年3月期第2四半期	△1,748.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,219	2,585	76.1
23年3月期	3,297	2,589	74.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,449百万円 23年3月期 2,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,185	△2.3	110	—	145	504.1	100	—	724.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	140,287 株	23年3月期	140,287 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,765 株	23年3月期	1,931 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	137,892 株	23年3月期2Q	138,966 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災による生産・輸出の落ち込みや、電力供給の不安等の要因はありましたが、徐々に回復傾向にあります。インターネット業界においては、スマートフォンを中心とした多様な端末の普及や、各種ソーシャルネットワークワーキングサービスの利用の広がりなどもあり、新たな消費につながる話題は引き続き多い状況にあります。

こうした環境下、当社グループは、一層の普及が見込まれるスマートフォン対応の一環として、動画変換ASPサービス「MobaVio」のAndroid端末対応を開始したり、同サービスを他社のウェブサイト自動変換サービスと連携して提供する仕組みを構築するなど、ニーズにあわせたビジネス展開を進めました。DRM（著作権保護）の主要な形式であるPlayReadyに対応したスマートフォン向け動画・音楽配信サービスについても、サービスインに向け開発を継続いたしました。

需要面では、企業ユーザーによる広告、販売促進目的の映像配信利用は増加傾向にありますが、引き続き価格要件も厳しい状況にあります。また、ネットライブの需要が旺盛であるため当社グループとしても対応体制の強化を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高2,489百万円（前年同期比1.6%減）、連結営業利益28百万円（前年同期は連結営業損失161百万円）、連結経常利益42百万円（前年同期は連結経常損失142百万円）、連結四半期純利益は12百万円（前年同期は連結四半期純損失243百万円）となりました。

セグメントの売上は次のとおりであります。

(配信事業)

配信事業においては、「ブライトコープ」や「クロスデバイスライブ」など、ユーザーが映像配信を多様な用途に活用しやすくするアプリケーションサービスの開発・販売を通じて受注拡大を図りました。当第2四半期連結累計期間においては、講演会やイベントに伴うライブ配信案件の受注が順調であり、ネットワーク関連売上は順調に推移しました。モバイル関連は、iチャンネル向けASPサービスの値下げの影響が大きく低調な推移となりました。当事業の売上高は1,182百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

(制作・システム開発事業)

制作・システム開発事業においては、企業の映像を利用したウェブサイトやサイトに掲載する映像の制作、及びこれに関連するサイトの更新運用などを行ってまいりました。同事業は配信事業とあわせて当社グループが提供するワンストップサービスを構成しており、顧客ニーズに応じたクリエイティブ提案を通じ、配信事業とあわせて受注拡大を図りました。当第2四半期連結累計期間においては、前半においては期初の震災影響による広告系の受注減少や、大型の情報発信サイトの顧客事情による縮小等があり低調な滑り出しとなったものの、企業の情報提供やコンテンツ配信用途のサイト制作案件を中心に需要は回復を見せており、第2四半期においては受注件数、金額共に増加傾向となりました。当事業の売上高は1,017百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(コンテンツビジネス)

コンテンツビジネスにおいては、携帯電話向けコンテンツ配信サイトの運営や、アーティストの会員ウェブサイトの運営受託と関連商品の販売などを行ってまいりました。当第2四半期連結累計期間において運営するウェブサイトの会員数は堅調に推移しましたが、フィーチャーフォンからスマートフォンへのユーザーの移動という全体のトレンドの中で、会員数の減少するコンテンツサイトもあり、対応について検討を進めております。当事業の売上高は259百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

その他の売上には案件の進行に伴い随時発生する、上記3事業にあてはまらない売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は30百万円（前年同期比157.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

【資産、負債及び純資産の状況】

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、3,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。主な要因は、以下のとおりであります。

流動資産は、売掛金の減少が主な要因となり、前連結会計年度末に比べ100百万円減少し、2,404百万円となりました。

固定資産は、ネットワーク関連設備のリース資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、814百万円となりました。

流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、476百万円となりました。
固定負債は、リース債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し、157百万円となりました。
純資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、2,585百万円となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ38百万円減少し、1,392百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間と比べ11百万円増加し、168百万円の資金の増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が増加した他、売上債権の減少、未払金の減少などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動は、106百万円の資金減少となり、前第2四半期連結累計期間と比べ支出が246百万円減少しました。これは主に、前第2四半期連結累計期間の本社移転に伴う支出、並びにA S P関連ソフトウェアの設備投資の支出が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動は、39百万円の資金減少となり、前第2四半期連結累計期間と比べ支出が28百万円増加しました。これは主にリース債務の支払、自己株式の取得によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表致しました連結業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,561	592,296
受取手形及び売掛金	984,467	833,556
商品	4,969	4,648
仕掛品	21,704	44,290
預け金	730,000	800,000
その他	130,226	132,761
貸倒引当金	△5,637	△2,586
流動資産合計	2,505,292	2,404,966
固定資産		
有形固定資産	279,393	302,383
無形固定資産		
のれん	39,730	33,022
ソフトウェア	243,401	257,378
その他	15,780	17,178
無形固定資産合計	298,913	307,579
投資その他の資産		
投資有価証券	90,237	86,701
その他	139,419	142,015
貸倒引当金	△15,778	△24,310
投資その他の資産合計	213,879	204,406
固定資産合計	792,185	814,370
資産合計	3,297,478	3,219,336
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,863	6,132
未払金	355,989	287,809
未払法人税等	21,290	20,843
引当金	20,647	22,409
その他	124,593	139,051
流動負債合計	555,384	476,246
固定負債		
引当金	11,561	13,921
資産除去債務	17,118	17,301
負ののれん	65,994	52,795
その他	57,578	73,765
固定負債合計	152,251	157,783
負債合計	707,636	634,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	1,268,458	772,584
利益剰余金	△926,094	△417,470
自己株式	△66,968	△87,876
株主資本合計	2,457,775	2,449,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△87	△352
その他の包括利益累計額合計	△87	△352
少数株主持分	132,152	136,042
純資産合計	2,589,841	2,585,306
負債純資産合計	3,297,478	3,219,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,530,349	2,489,465
売上原価	1,599,933	1,637,933
売上総利益	930,415	851,531
販売費及び一般管理費	1,091,967	823,365
営業利益又は営業損失(△)	△161,551	28,165
営業外収益		
受取利息	4,863	3,743
負ののれん償却額	13,198	13,198
その他	10,434	7,532
営業外収益合計	28,496	24,474
営業外費用		
支払利息	1,998	1,424
貸倒引当金繰入額	—	5,381
その他	7,420	3,823
営業外費用合計	9,419	10,630
経常利益又は経常損失(△)	△142,473	42,010
特別利益		
投資有価証券売却益	697	42
貸倒引当金戻入額	1,674	—
受取和解金等	16,500	—
その他	1,662	—
特別利益合計	20,534	42
特別損失		
固定資産除却損	1,101	437
減損損失	40,336	—
事務所移転費用引当金繰入額	24,558	—
投資有価証券評価損	6,076	15,795
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,615	—
その他	28,411	—
特別損失合計	109,099	16,232
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△231,038	25,820
法人税、住民税及び事業税	9,354	14,074
法人税等調整額	6,248	△4,893
法人税等合計	15,602	9,180
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△246,641	16,639
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,591	3,889
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△243,049	12,750

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△246,641	16,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	△265
その他の包括利益合計	△130	△265
四半期包括利益	△246,772	16,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△243,180	12,484
少数株主に係る四半期包括利益	△3,591	3,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△231,038	25,820
減価償却費	105,471	90,913
減損損失	40,336	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,615	—
のれん償却額	28,240	6,708
負ののれん償却額	△13,198	△13,198
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,622	1,762
遅延損害引当金の増減額(△は減少)	△31,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,049	5,480
事務所移転費用引当金の増減額(△は減少)	24,558	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△669	2,359
有形及び無形固定資産除却損	1,101	437
受取利息及び受取配当金	△4,863	△3,743
支払利息	1,998	1,424
組合分配損失	7,415	697
投資有価証券売却損益(△は益)	△697	△42
投資有価証券評価損益(△は益)	6,076	15,795
受取和解金等	△16,500	—
売上債権の増減額(△は増加)	184,888	150,911
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,694	△22,030
その他の資産の増減額(△は増加)	△11,821	5,098
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,401	△26,731
未払金の増減額(△は減少)	3,960	△56,491
その他の負債の増減額(△は減少)	15,911	3,395
その他	△685	823
小計	99,675	189,390
利息及び配当金の受取額	5,338	3,757
利息の支払額	△1,870	△1,424
和解金の受取額	16,500	—
法人税等の支払額	△7,517	△23,612
法人税等の還付額	44,032	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,157	168,111

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112,140	△32,350
無形固定資産の取得による支出	△162,116	△64,666
敷金及び保証金の差入による支出	△73,089	△123
投資有価証券の取得による支出	—	△15,795
投資有価証券の売却による収入	697	1,042
貸付金の回収による収入	1,574	1,974
保険積立金の解約による収入	—	2,330
資産除去債務の履行に係る支出	△9,273	—
その他	1,912	1,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,435	△106,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△20,908
リース債務の返済による支出	△11,125	△18,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,125	△39,244
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△207,402	22,734
現金及び現金同等物の期首残高	1,638,318	1,369,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,430,916	1,392,296

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	コンテンツ ビジネス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,132,920	1,134,640	251,036	2,518,597	11,751	2,530,349	—	2,530,349
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	34,177	17,650	6,573	58,401	2,452	60,853	△60,853	—
計	1,167,097	1,152,291	257,609	2,576,999	14,204	2,591,203	△60,853	2,530,349
セグメント利益又は 損失(△)	264,578	△59,829	△20,901	183,846	△1,709	182,136	△343,688	△161,551

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△343,688千円には、セグメント間取引消去△300千円及び配賦不能営業費用△343,388千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、制作・システム開発事業における固定資産減損損失を11,101千円計上いたしました。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	コンテンツ ビジネス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,182,783	1,017,120	259,339	2,459,244	30,220	2,489,465	—	2,489,465
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,791	10,267	6	28,065	3,090	31,156	△31,156	—
計	1,200,575	1,027,388	259,345	2,487,309	33,311	2,520,621	△31,156	2,489,465
セグメント利益又は 損失(△)	279,277	40,414	△20,673	299,018	914	299,932	△271,766	28,165

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△271,766千円には、セグメント間取引消去△300千円及び配賦不能営業費用△271,466千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年11月5日開催の取締役会及び、平成23年5月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、普通株式834株を20,908千円にて取得いたしました。

また、平成23年6月29日開催の定時株主総会決議に基づき、資本準備金668,458千円を減少させ、その他資本剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金のうち495,873千円を繰越利益剰余金に振替え、欠損を補填しました。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。